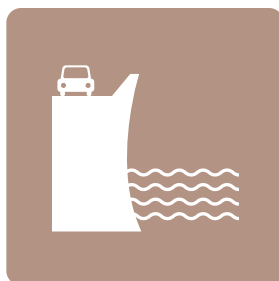
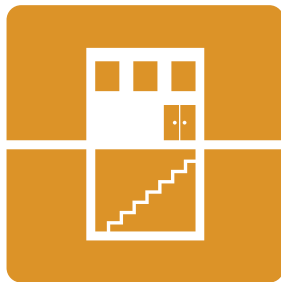


# 土木／建築

## 防水・資材 総合ファイル

橋梁／トンネル／土木地下／建築地下  
法面防草・遮水／用水路／護岸／躯体修繕



# 土木／建築 防水・資材 総合ファイル



## INDEX

- 1 地下防水用改質アスファルトシート防水材  
**ガムロンフォルト**
- 2 ガムロンフォルト **土木地下防水** 〈後やり工法／先やり工法〉
- 3 ガムロンフォルト **建築地下防水** 〈後やり工法〉
- 4 道路橋床版防水工法  
**流し貼り型 床版シートNW**
- 5 道路橋床版防水工法  
**常温粘着型 床版シートJ**
- 6 道路橋床版防水工法  
**アスファルト加熱型 床版コートND**
- 7 改質アスファルト系 乾式機械的固定用防草・遮水シート  
**ガムロングラスガード**
- 8 亜硝酸リチウム含有 鉄筋コンクリート補修材  
**リバンプ工法**
- 9 瀝青質目地板  
**エラストイト**

## 地下防水用改質アスファルトシート防水材

# ガムロンフォルト

### 概要

ガムロンフォルトは高強度・高伸度の合成繊維不織布基材に改質アスファルトを含浸塗覆した、地下防水用改質アスファルトシートです。強力な粘着層により下地に容易かつ確実に貼り付き、地下水などの浸入を防ぎます。

### 特長

- 剥離紙をはがすだけでガムロン相互にも下地にも確実に接着する完全粘着層タイプ。
- 粘着層は広い温度範囲にわたって粘着性、流動性が極めて安定した特性を持ち、オールシーズンの施工が可能。貼った直後から100%機能を発揮します。
- 強靱な不織布基材、伸び・引き裂き・引張り強さに優れ、ゴム化アスファルトと相乗した下地追従性により、確実な防水層を形成します。



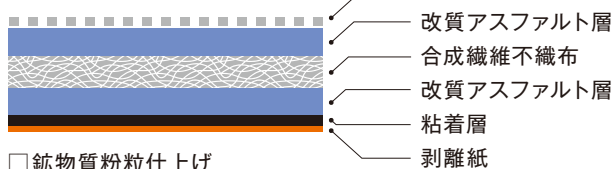
### 製品構成

#### ガムロンフォルト M/B

ガムロンフォルトMは表面が鉱物質粉粒仕上げ、裏面が粘着層の片面接着タイプ。ガムロンフォルトBは両面が粘着層になっています。いずれも剥離紙をはがして貼り付けます。

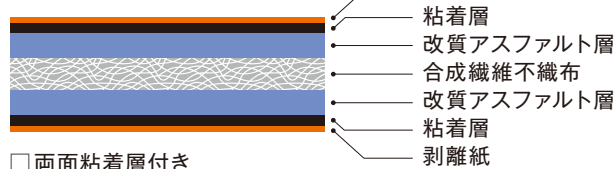


#### ガムロンフォルト M



- 鉱物質粉粒仕上げ
- 3.2mm厚
- 1m幅 (受注生産品0.2m、0.5m)
- 長さ 8m、重さ 34kg (1巻)

#### ガムロンフォルト B



- 両面粘着層付き
- 3.2mm厚
- 1m幅 (受注生産品0.2m、0.5m)
- 長さ 8m、重さ 36kg (1巻)

### ●ガムロンフォルトの品質

JIS A 6013 規格 非露出単層防水用・R種・Ⅱ類			規格値	試験結果	
				ガムロンフォルトM	ガムロンフォルトB
引張り	引張り強さ (N/cm)	長手方向	80以上	合格	合格
		幅方向		合格	合格
	伸び率(%)	長手方向	15以上	合格	合格
		幅方向		合格	合格
坑張積 (N・%/cm)	長手方向	2500以上	合格	合格	
	幅方向		合格	合格	
引裂強さ(N)	長手方向	20以上	合格	合格	
	幅方向		合格	合格	
耐折り曲げ性 き裂個数	表面	0	合格	合格	
	裏面	0	合格	合格	
接合強さ(N/cm)			40以上	合格	合格
耐へこみ性			穴が生じない	合格	合格
耐疲労性			ひび割れ・裂け・破断が生じない	合格	合格

※最新の数値については試験表をお取り寄せください。

## 地下防水用改質アスファルトシート防水材料 **ガムロンフォルト**

### 材料紹介

種類	ガムロンフォルトM	地下防水用改質アスファルトシート防水材料 (鉱物質粉粒仕上げ)	1m×8m t=3.2mm カット500:0.5m×8m (2巻入) ※受注生産品 カット200:0.2m×8m (5巻入) ※受注生産品
	ガムロンフォルトB	地下防水用改質アスファルトシート防水材料 (両面粘着層付き)	1m×8m t=3.2mm 0.5m×8m、0.2m×8m ※受注生産品
副資材	水性プライマーAS	エマルジョン系 アスファルトプライマー	17kg/缶
	アスファルトプライマーDC	溶剤系アスファルトプライマー (危険物第4類第1石油類危険物等級Ⅱ)	16.4kg/缶 ※受注生産品
	アスファルトプライマーSS	速乾タイプ溶剤系プライマー	16kg/缶
	強力ガムシール	特殊ゴムアス系シール材	20kg/缶、9kg/缶、330ccカートリッジ
	GSプロテクター	補強布付特殊ポリエチレン保護緩衝材	1m×25m t=6mm
	GSプロテクターセメント	GSプロテクター用接着剤	17kg/缶
	バリスターWP	アスファルト系保護パネル	1m×0.5m t=4mm
	カケンボード	プレハブ防水下地材	1m×1m t=10mm
	エンシンシート	延伸性 増貼りシート	450mm×8m
	ガムリッチ18	増貼り用ゴムアス系テープ	180mm×8m
	GCライン	変成シリコーン系シール材	330cc カート (10本/箱) 850cc ジャンボカート (10本/箱)



### 取扱い・施工上の注意事項

- ガムロンフォルトM・Bの保管はたて積みとし、雨等があたらないように養生してください。
- シートの重ね幅は、幅方向・長手方向とも100mm以上としてください。状況によりバーナー等であぶり圧着してください。
- 防水施工後（埋戻し時等）には、防水層を損傷しないよう十分注意してください。
- アスファルトプライマーDCおよびアスファルトプライマーSSは溶剤系のため、使用に際しては火気および換気に十分注意してください。

## 土木地下防水 **後やり工法**

- 防水層を後に施工することから「後やり工法」と呼ばれています。防水施工のための作業エリアを確保する必要があり、土地に余裕がある場合に有利な工法です。
- コンクリート打設後、プライマーを塗布します。その上にガムロンフォルトを貼付け、保護シートを施工した後、埋戻します。



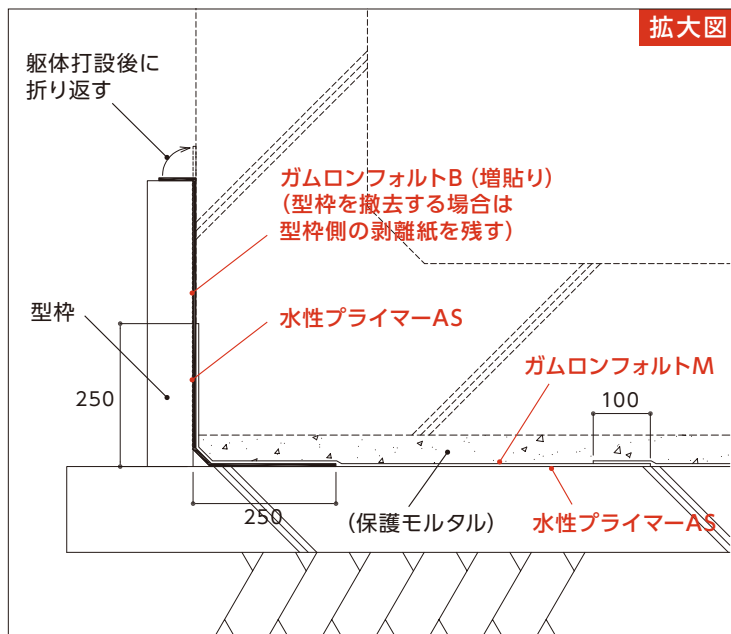
### 外防水工法（後やり工法）仕様例

	下地	1	2	3	
底部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	—	埋戻し
側部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	GSプロテクター	埋戻し
頂部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	—	埋戻し

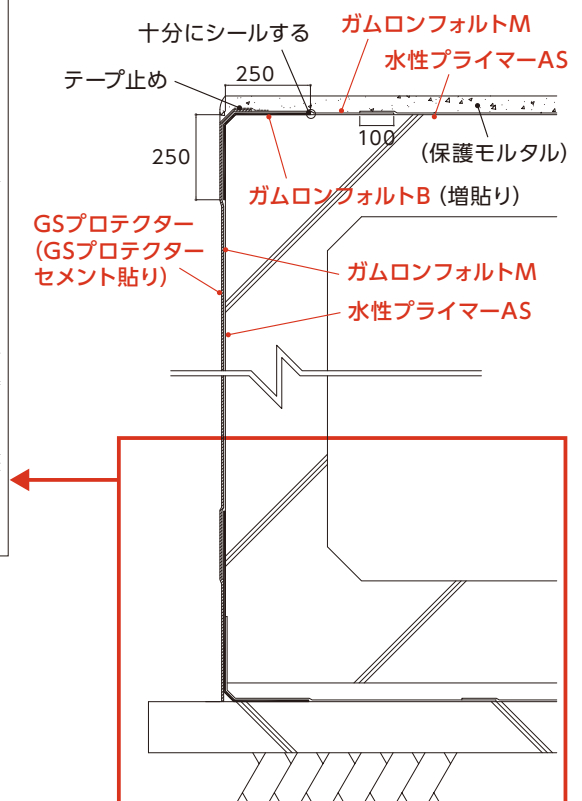
注) 底部、頂部のコーナー部はガムロンフォルトBを増貼ります。GSプロテクターは、GSプロテクターセメント0.3kg/m<sup>2</sup>で貼り付けます。保護材をバリスター WPとする場合は、ガムロンフォルトBに変更します。

### 外防水工法図

#### ● 底部処理図

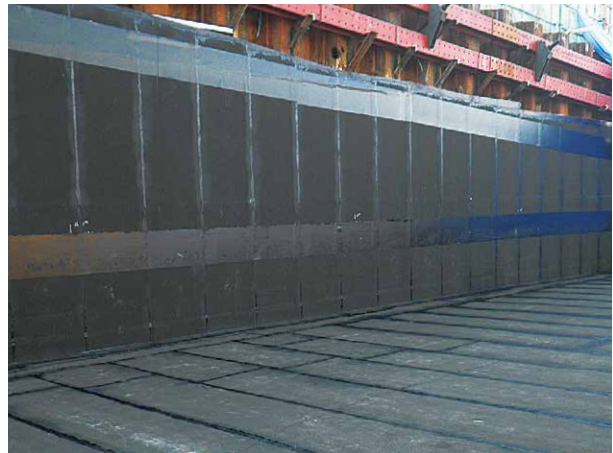


#### ● 側・頂・底部断面図



## 土木地下防水 **先やり工法**

- 防水層を先に施工することから「先やり工法」と呼ばれており、掘削範囲を狭くできるのが特長です。
- 側部にまず防水材を貼るための下地板を、段差・隙間なく施工します。下地板上に防水材の保護兼下地となるアスファルト系ボード「バリスターWP」を施工します。その上にガムロンフォルトを貼り付けた後、コンクリートを打設します。



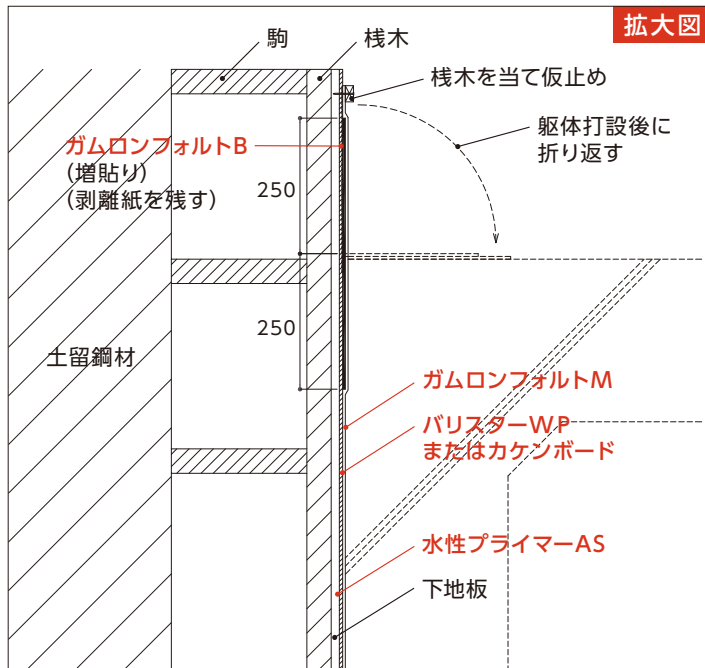
### 内防水式外防水工法 (先やり工法) 仕様例

	下地	1	2	3	
底部・頂部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	—	(埋戻し)
側部	下地板	バリスターWP (またはカケンボード)	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	(埋戻し)

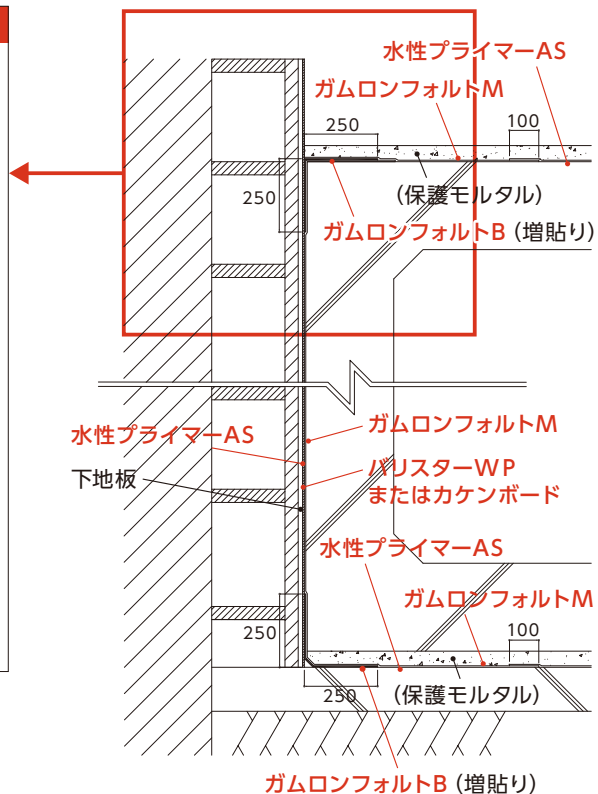
注) 底部、頂部のコーナー部はガムロンフォルトBを増貼りします。バリスターWPの場合はプライマーは不要です。

### 内防水式外防水工法図

#### ●頂部処理図

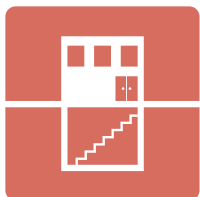


#### ●側・頂・低部断面図



# 地下防水用改質アスファルトシート防水材 **ガムロンフォルト**

## 建築地下防水 **後やり工法**



### 用途：建築物地下

●信頼性・耐久性に優れた改質アスファルトシートのガムロン防水を、コンクリート躯体の外側に設ける「外防水」です。

- 外防水は良好な作業性が得られ、品質や性能の管理・確認を容易に行うことができます。
- ガムロンフォルトは剥離紙をはがして貼付けるため省力化が図れ、また臭いや煙の発生がほとんどありません。



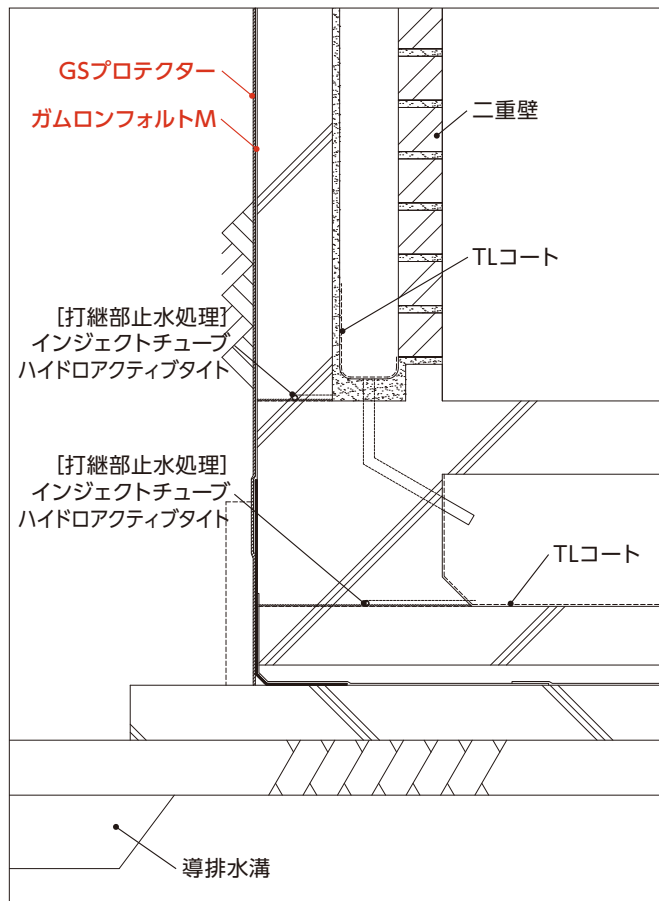
### 外防水工法（後やり工法）仕様例

	下地	1	2	3	
底部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	保護モルタル（別途）	埋戻し
側部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM (B)	GSプロテクター（バリスターWP）	埋戻し
頂部	コンクリート	水性プライマーAS	ガムロンフォルトM	保護モルタル（別途）	埋戻し

注) 底部のコーナー部はガムロンフォルトBを増貼りします。GSプロテクターは、GSプロテクターセメント0.3kg/m<sup>2</sup>で貼り付けます。保護材をバリスターWPとする場合は、ガムロンフォルトBに変更します。

### 外防水工法図

#### ●底部処理図



#### ●端部納まり例

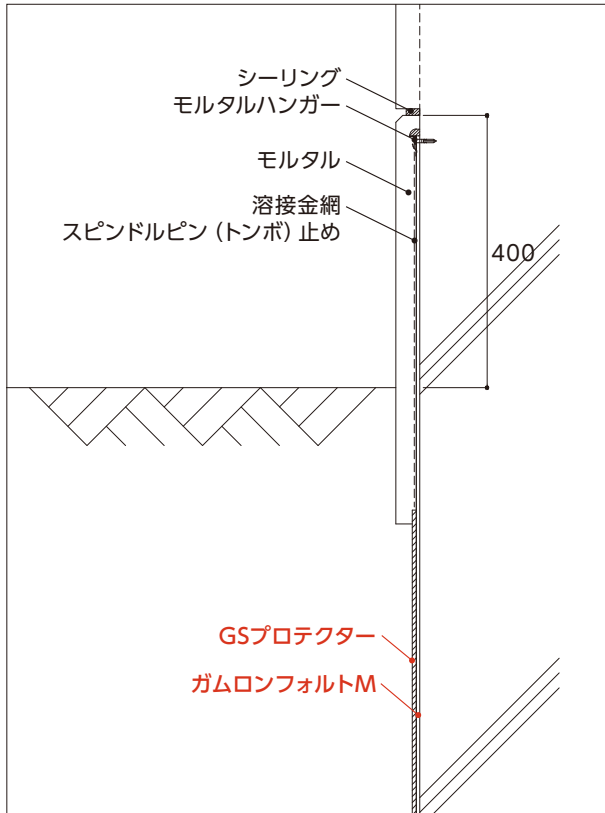


※山留め壁面と躯体コンクリート面との間は、1.0～1.5m程度の空間が必要となります。

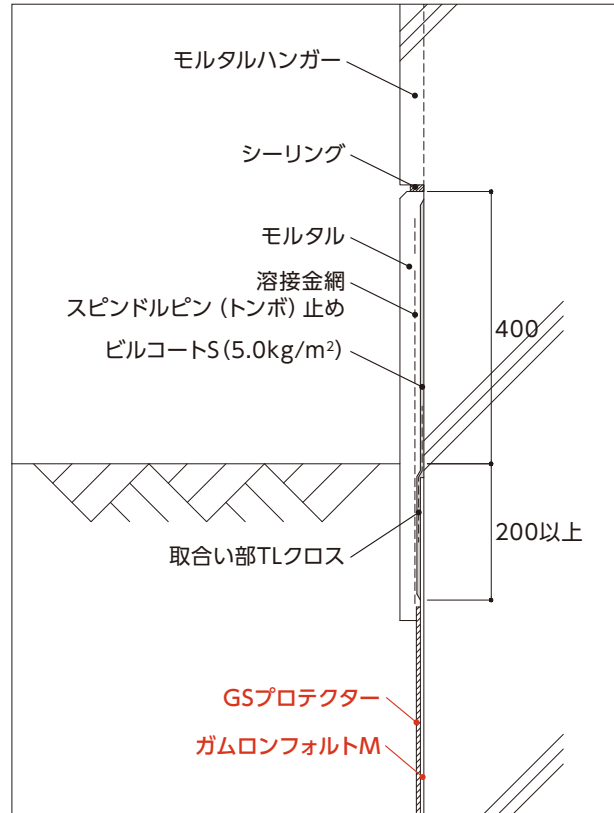
※ビルコートS、TLコート、ハイドロアクティブタイトについての詳細は、各カタログをご参照ください。

外防水工法図 部分詳細

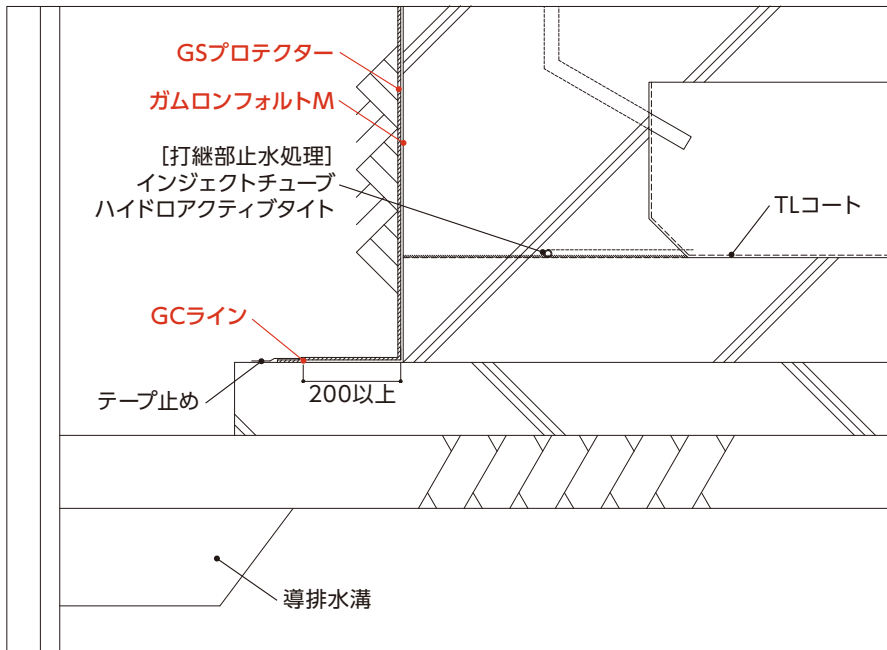
●地表部分断面図



●塗膜防水を併用する場合



●底部防水を行わない場合



※防水工法を先やり工法とする場合は、土留め壁にバリスター WPを施工して、防水層を貼付けます。セパレーターは止水用セパレーターをご使用ください。



## 道路橋床版防水工法

# 流し貼り型 床版シートNW

### 概要

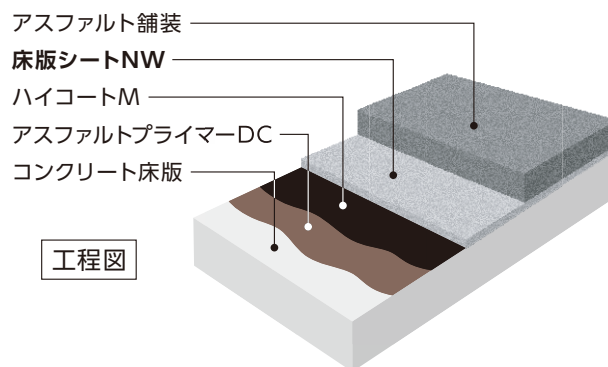
道路橋床版は、舗装を介して交通荷重がかかる厳しい条件にさらされる部位であり、損傷を生じやすい傾向にあります。浸入した雨水や凍結防止剤、飛来塩分などは、コンクリート床版の鉄筋腐食を早め、主構造の耐久性を著しく低下させます。そのため、コンクリート床版の耐久性向上、良好な維持管理には、床版防水が必要不可欠となっています。

床版シートNWは、道路橋床版防水便覧の基本照査試験、NEXCOの構造物施工管理要領の床版防水グレードI規格Bの品質基準に適合した、アスファルト流し貼り型の橋梁床版用防水シートです。



### 特長

- 道路橋床版防水工法流し貼り型専用の防水シートです。
- 床版に発生する様々な動きに十分対応できる引張性能（引張強さ・伸び率）を備えています。
- 強靱な基材と高品質な改質アスファルトの組み合わせにより、優れた耐久性を誇ります。
- 優れた温度特性を持ち、幅広い温度範囲で使用できます。
- 表面砂のホワイト化により、はみ出しアスファルトの目視管理を容易にし、夏季においては施工中に防水シートの温度が上がりにくく、作業負担が軽減できます。

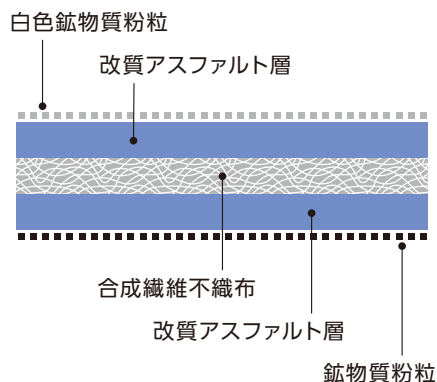


工程図

### 防水仕様例

工程	施工内容	使用材料	標準使用量
1	下地処理	—	—
2	プライマー塗布	アスファルトプライマーDC	0.4ℓ/m <sup>2</sup>
3	シート施工	床版シートNW ハイコートM流し貼り	1.2kg/m <sup>2</sup>
4	端部、排水溝等の処理	テトロメッシュ2号 ハイコートM	—

### 製品構成



### 床版シートNW

道路橋床版防水用流し貼り型の改質アスファルトシートです。



#### 標準規格

1×16m 1.6mm厚

※受注生産品

## 技術資料

### ●製品の品質

項目 (道路橋防水便覧)	標準値	床版シートNW
厚さ (mm)	1.0~3.5	1.6
引張強さ (N/cm)	100以上	長手：156 幅：117
最大荷重時の伸び率	—	長手：40 幅：45
低温可とう性 (-10℃)	4/5個以上合格	長手：5/5 幅：5/5
吸水膨張性 (%)	±1.0	長手：-0.2 幅：-0.1
耐アルカリ性	異常のないこと	異常なし
耐塩水性	異常のないこと	異常なし

※最新の数値については試験表をお取り寄せください。

### ●防水層の品質

項目 (グレードI規格B)		規格値	試験結果	
防水性	減水量 (ml)	0.2以下	合格	
局部変形性	透水量 (ml)	0.1以下	合格	
せん断接着性	強度 (N/mm <sup>2</sup> )	-10℃	0.8以上	合格
		23℃	0.15以上	合格
	変形性 (%)	-10℃	0.5以上	合格
		23℃	1.0以上	合格
引張接着性	強度 (N/mm <sup>2</sup> )	-10℃	1.2以上	合格
		23℃	0.6以上	合格
水浸7日後の引張接着性	強度維持率 (%)	23℃	50以上	合格
ひび割れ追従性	追従限界ひび割れ幅 (mm)		0.3以上	合格
耐熱・寸法安定性	%		±2以下	合格
耐薬品性試験	3%塩化ナトリウム	異常のないこと	合格	
	3%塩化カルシウム		合格	
	飽和水酸化カルシウム		合格	

## 材料紹介 [副資材]

### アスファルトプライマーDC

シートと床版コンクリートとの接着性を高める、改質アスファルト系プライマーです。

18ℓ/缶  
(16.4kg/缶)

※受注生産品



### テトロメッシュ2号 100/150/300

柔軟でなじみやすい網状アスファルトルーフィングです。複雑な部位への増貼りに使用します。

100mm×33m 3巻/箱  
150mm×33m 3巻/箱  
300mm×33m 3巻/箱



### MJシール

アスファルト舗装のジョイント、舗装端部の雨水浸入防止用。改質アスファルト系の成形目地材です。



### ハイコートM

防水工専用アスファルトです。

JIS K2207-3種  
25kg/袋



1~5m/巻 (厚みによる)

※厚みと幅は要指定。

※受注生産品

## 施工時の注意

- コンクリート床版面のレイトンス、塵埃、油脂などはディスクサンダー、パワーブラシ等で除去してください。
- 下地の乾燥度は目視で行いますが、高周波水分計を用いる場合、水分量10%を目安として、参考程度に用いてください。
- アスファルトプライマーDCは溶剤を含んでおります。取り扱いには十分注意してください。(危険物第4類第1石油類危険物等級Ⅱ)

## 道路橋床版防水工法

# 常温粘着型 床版シートJ

### 概要

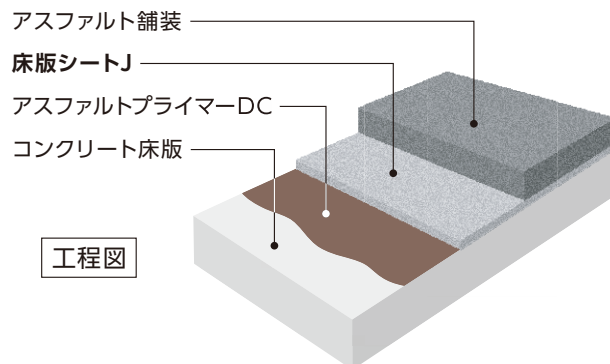
床版シートJは、耐久性が高く寸法安定性に優れたガラス基材に改質アスファルトをコーティングした常温粘着型の橋梁床版用防水シートで、道路橋床版防水便覧における基本照査試験の品質基準に適合しています。

常温粘着型は、シート裏面の剥離フィルムを剥がし、プライマーを塗布したコンクリート床版に常温接着させる道路橋床版防水工法です。特殊な施工機械を必要とせず施工性に優れています。また、施工時のCO<sub>2</sub>を抑えることができ、防水施工後に発生するブリスタリング（ふくれなど）が比較的少ないことから、舗装厚みが薄い歩道部にも適用されるなど、現場の制約を受けにくいのも特長です。



### 特長

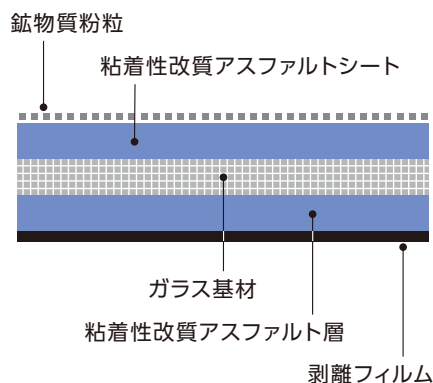
- 転圧と舗装の余熱により溶融一体化する常温粘着型で、安全と環境に配慮した防水材です。
- 強靱な基材と高品質の改質アスファルトの組み合わせにより優れた追従性を備えています。
- 優れた温度特性を持ち、幅広い温度範囲で使用できます。
- アスファルト舗装によるブリスタリングが比較的少なく、確実な防水層を形成できます。
- シートの粘着力で直接貼り付けるため、施工性が良く、短い施工期間にも対応できます。



### 防水仕様例

工程	施工内容	使用材料	標準使用量
1	下地処理	—	—
2	プライマー塗布	アスファルトプライマーDC	0.4ℓ/m <sup>2</sup>
3	シート施工	床版シートJ 貼り付け	—
4	端部、排水溝等の処理	テトロメッシュ2号 ハイコートM	—

### 製品構成

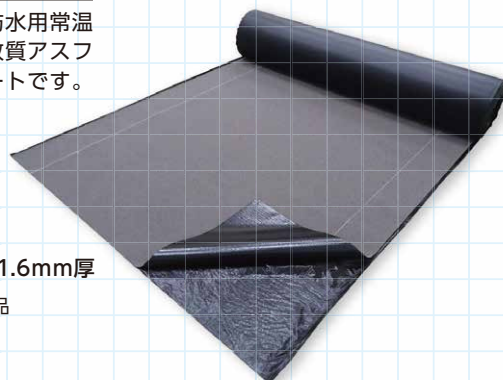


### 床版シートJ

橋梁床版防水用常温粘着型の改質アスファルトシートです。

#### 標準規格

1×16m 1.6mm厚  
※受注生産品



## 技術資料

### ●製品の品質

項目 (道路橋防水便覧)	標準値	床版シートJ
厚さ (mm)	1.0~3.5	1.6
引張強さ (N/cm)	100以上	長手：396 幅：340
最大荷重時の伸び率	—	長手：6.0 幅：6.4
低温可とう性 (-10℃)	4/5個以上合格	長手：5/5 幅：5/5
吸水膨張率 (%)	±1.0	±0.1
加熱収縮率 (%)	±3.0	±0.1
耐アルカリ性	異常のないこと	異常なし
耐塩水性	異常のないこと	異常なし

※最新の数値については試験表をお取り寄せください。

### ●防水層の品質

項目 (基本照査)	規格値	試験結果
防水性	減水量 (ml)	0.2以下 合格
せん断接着性	強度 (N/mm <sup>2</sup> )	-10℃ 0.8以上 合格
		23℃ 0.15以上 合格
	変形性 (%)	-10℃ 0.5以上 合格
		23℃ 1.0以上 合格
引張接着性	強度 (N/mm <sup>2</sup> )	-10℃ 1.2以上 合格 23℃ 0.6以上 合格
水浸7日後の引張接着性	強度維持率 (%)	23℃ 50以上 合格
ひび割れ追従性	追従限界ひび割れ幅 (mm)	-10℃ 0.3以上 合格
耐薬品性試験	3%塩化ナトリウム	異常のないこと 合格
	飽和水酸化カルシウム	異常のないこと 合格

## 材料紹介 [副資材]

### アスファルトプライマーDC

シートと床版コンクリートとの接着性を高める、改質アスファルト系プライマーです。

18ℓ/缶  
(16.4kg/缶)

※受注生産品



### テトロメッシュ2号 100/150/300

柔軟でなじみやすい網状アスファルトルーフィングです。複雑な部位への増貼りに使用します。

100mm×33m 3巻/箱  
150mm×33m 3巻/箱  
300mm×33m 3巻/箱



### ハイコートM

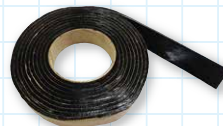
防水工用アスファルトです。

JIS K2207-3種  
25kg/袋



### MJシール

アスファルト舗装のジョイント、舗装端部の雨水浸入防止用。改質アスファルト系の成形目地材です。



1~5m/巻 (厚みによる)  
※厚みと幅は要指定。  
※受注生産品

## 施工時の注意

- コンクリート床版面のレイトンス、塵埃、油脂などはディスクサンダー、パワーブラシ等で除去してください。
- 下地の乾燥度は目視で行いますが、高周波水分計を用いる場合、水分量10%を目安として、参考程度に用いてください。
- アスファルトプライマー DCは溶剤を含んでおります。取り扱いには十分注意してください。(危険物第4類第1石油類危険物等級Ⅱ)

## 道路橋床版防水工法

# アスファルト加熱型 床版コートND

### 概要

床版コートNDは、特殊なポリマーを添加した改質アスファルトによる塗膜系の橋梁床版用防水材料です。道路橋床版防水便覧の基本照査と同等である、NEXCO総研における構造物施工管理要領の床版防水グレードI規格B塗膜系床版防水層（アスファルト加熱型）の品質基準に適合しています。

アスファルト加熱型は、施工現場で専用の加熱釜によって溶解させ、刷毛などを用いて塗布し、珪砂を撒いて仕上げる道路橋床版防水工法です。スピーディな施工が可能で、施工効率に優れています。また、塗膜系防水材料の特長であるシームレスな防水層を形成できます。

### 特長

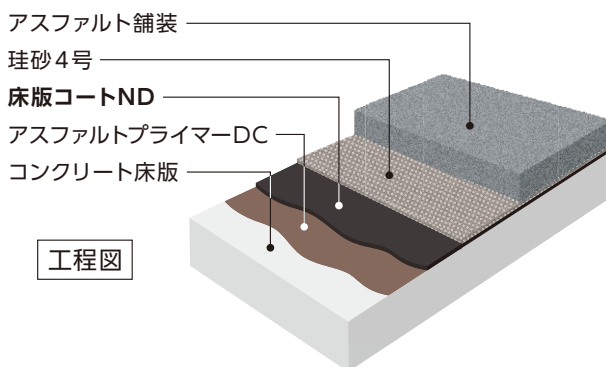
- 道路橋床版防水工法の塗膜系床版防水層のアスファルト加熱型防水材料です。
- 床版に発生するさまざまな動きに十分対応できる引張性能（引張強さー伸び率）を備えています。
- 高品質の改質アスファルトにより、優れた耐久性を確保できます。
- 低温可とう性を有しており、幅広い温度範囲で使用できます。
- アスファルト舗装によるブリスタリング（ふくれなど）が比較的少なく、確実な防水層を形成できます。



床版コートND塗布



珪砂散布後



工程図

### 防水仕様例

工程	施工内容	使用材料	標準使用量
1	下地処理	—	—
2	プライマー塗布	アスファルトプライマーDC	0.4ℓ/m <sup>2</sup>
3*	加熱型施工	床版コートND	1.2kg/m <sup>2</sup>
4	珪砂散布	珪砂4号	0.7kg/m <sup>2</sup>

\*端部、排水溝等の処理には、テトロメッシュ2号 床版コートNDを使用します。

### 床版コートND

特殊なポリマーによる改質アスファルトコンパウンドで、アスファルト加熱型塗膜防水材料です。

10kg/袋

※受注生産品



## 道路橋床版防水工法 アスファルト加熱型 床版コートND

### 技術資料

#### ●製品の品質

項目	標準値	床版コートND
針入度(円錐針)(mm)	1~5	2.4
軟化点(°C)	80以上	115
耐アルカリ性	異常のないこと	異常なし
耐塩水性	異常のないこと	異常なし

※最新の数値については試験表をお取り寄せください。

#### ●防水層の品質

項目(グレードI規格B)		規格値	試験結果	
防水性	減水量(ml)	0.2以下	合格	
局部変形性	透水量(ml)	0.1以下	合格	
せん断接着性	強度(N/mm <sup>2</sup> )	-10°C	0.8以上	合格
		23°C	0.15以上	合格
	変形性(%)	-10°C	0.5以上	合格
		23°C	1.0以上	合格
引張接着性	強度(N/mm <sup>2</sup> )	-10°C	1.2以上	合格
		23°C	0.6以上	合格
水浸7日後の引張接着性	強度維持率(%)	23°C	50以上	合格
ひび割れ追従性	追従限界ひび割れ幅(mm)	23°C	0.3以上	合格
低温可とう性	—	-10°C	4/5個に折損がないこと	合格
耐薬品性	3%塩化ナトリウム	異常のないこと	合格	
	3%塩化カルシウム		合格	
	飽和水酸化カルシウム		合格	

### 材料紹介 [副資材]

#### アスファルトプライマーDC

床版コートNDと床版コンクリートとの接着性を高める改質アスファルト系プライマーです。

18ℓ/缶(16.4kg/缶)

※受注生産品



#### テトロメッシュ2号 100/150/300

柔軟でなじみやすい網状アスファルトルーフィングです。複雑な部位への増貼りに使用します。

100mm×33m 3巻/箱  
150mm×33m 3巻/箱  
300mm×33m 3巻/箱

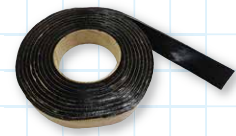


#### MJシール

改質アスファルト系の成型目地材です。アスファルト舗装のジョイントや端部の雨水侵入を防止します。

1~5m/巻  
(厚みによる)  
※厚みと幅は要指定。

※受注生産品



### 施工時の注意

- 床版コートNDは改質アスファルトであり、過剰な加熱により劣化する恐れがあります。加熱釜の温度設定は230°Cを超えないように注意してください。
- コンクリート床版面のレイタンス、塵埃、油脂などはディスクサンダー、パワーブラシ等で除去してください。
- 下地の乾燥度は目視で行いますが、高周波水分計を用いる場合、水分量10%を目安として、参考程度に用いてください。
- アスファルトプライマー DCは溶剤を含んでおります。取り扱いには十分注意してください。(危険物第4類第1石油類危険物等級Ⅱ)

## ガムロングラスガード

共同開発  
(財) 鉄道総合技術研究所

### 目的

ガムロングラスガードは長期間にわたって盛土法面への雨水の浸透を防止し、防草効果を保持するローコストタイプのシートとして開発した、改質アスファルト系の防草・遮水シートです。雨水による盛土耐力の低下、浸食を防止するとともに、草刈り作業等のメンテナンスフリー化、除草剤散布にともなう公害問題および、害虫発生源の解消に役立ちます。

### 概要

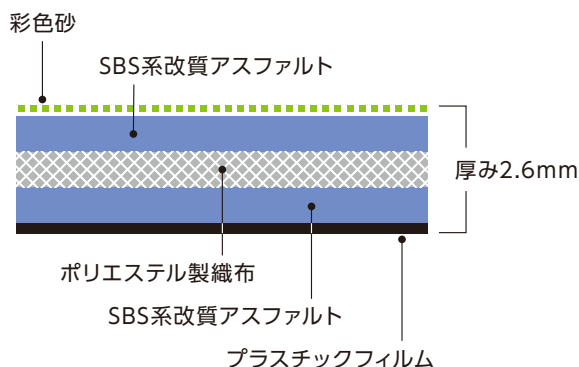
従来の法面保護工法に使用されていた高分子系シートは、長期間使用する場合、経時劣化や雑草の成長にともない、穴あき等の問題が生じていました。

改質アスファルト系を主原料とするガムロングラスガードは、加水分解やバクテリア分解などに起因する劣化がほとんどないため、長期にわたって植生を制御します。また、耐候性・防滑性に優れるので勾配部分の安全施工に寄与します。防水材料のトップメーカーである田島ルーフィングが防水材料開発で培ってきたノウハウを活かして開発した、優れた遮水機能と美観を合わせ持つ、土木法面に最適なシートです。

### 特長

- 3kg/m<sup>2</sup>以下と軽量で、乾式工法で施工するためトータルコストに優れます。
- 長期にわたり雑草の繁殖および雨水などによる法面の浸食を防ぎます。
- 耐久性の高い新構成の改質アスファルト系シートです。
- シート表面は無機質粒子からなり、耐候性・防滑性に優れます。
- 構成材料が柔軟性、加工性に優れており、シートが損傷を受けた場合にも補修が容易です。
- 副資材が充実しており、細部への施工も容易です。
- 耐アルカリ性に優れていますので、コンクリート構造物との併用が可能です。

### 製品構成



### ● 施工後19年経過の状況



### ● 不陸面への施工例



固定方法は現場状況により異なります。

### ガムロングラスガード

長期にわたり遮水・防草効果を保つ、新構成の特殊改質アスファルト系シートです。

※受注生産品



標準規格 1×10m  
2.6mm厚

### ガムロングラスガードテープ

ガムロングラスガードのジョイント増貼り用テープです。

※受注生産品

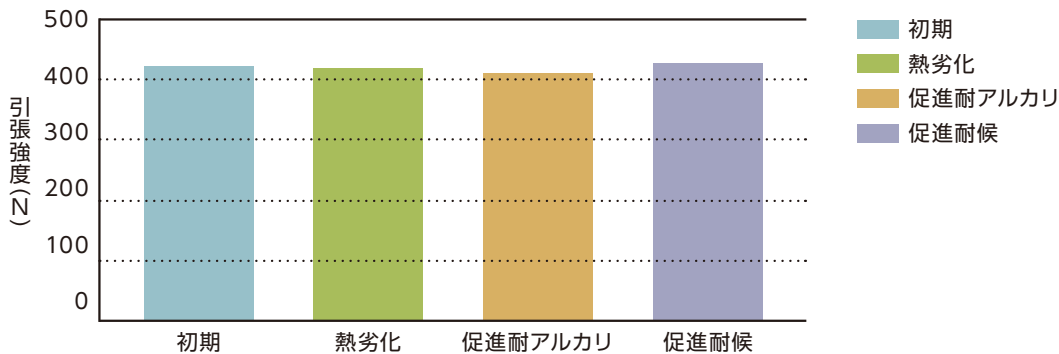


標準規格 0.2×10m  
2.6mm厚

技術資料

●引張強度

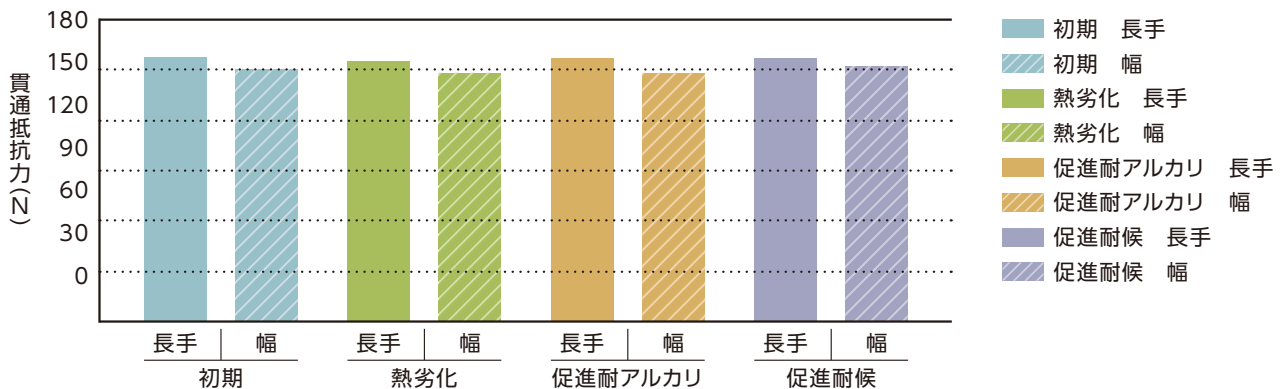
試験方法 JIS A 6013 「引張強さ」による



熱劣化・促進耐アルカリ・促進耐候試験後においても、初期の引張強度を維持しており、美観を損ねにくい特長があります。

●貫通抵抗試験

(財) 鉄道総研TPR-1P 型試験器使用



熱劣化・促進耐アルカリ・促進耐候試験後においても、初期の貫通抵抗を維持しており、高い防草効果を有しています。

●引張強度

試験方法 JIS L 1092 「繊維製品の防水性試験方法」に準拠

初期	漏水なし
熱劣化	漏水なし
促進耐アルカリ	漏水なし
促進耐候	漏水なし

熱劣化・促進耐アルカリ・促進耐候試験後においても、著しい劣化は見られず、良好な遮水性を維持しています。

〈劣化試験条件について〉

熱劣化 : 70℃オープン中で40日

促進耐アルカリ : 水酸化カルシウム飽和水溶液50℃中で40日

促進耐候 : JIS L 1096 「耐候性A法」に準じ、キセノン型耐候性試験器を用いた。紫外線照射3000時間



# 鉄筋コンクリート構造物修繕／中性化・塩害 化学療法

## 亜硝酸リチウム含有 鉄筋コンクリート補修材 **リバンプ工法**

### 概要

リバンプ工法は、亜硝酸リチウム (LiNO<sub>2</sub>) を高濃度に含有したRV水溶液またはRVモルタルを使用する工法です。亜硝酸イオンを内部鉄筋の周辺にまで浸透させることで、塩害・中性化などで劣化したコンクリート構造物の内部鉄筋全体の防錆効果を生み出し、不動態被膜を再生します。

### 用途

橋梁・トンネル・道路・護岸・地下鉄 等



### 特長

- 亜硝酸イオンの浸透拡散により、内部鉄筋の防錆環境をつくります
- 防錆モルタルの高い抑制効果により、外部劣化要因（二酸化炭素・塩化物イオン）の浸入を抑止します。

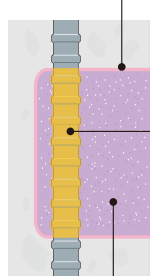
### 工法

#### リバンプ断面修復工法 ～亜硝酸リチウム併用～

#### RV-D

- 1 ハツリ範囲全周  
カッター入れ (深さ10mm程度)
- 2 ハツリ出し
- 3 錆落とし・清掃
- 4 コンクリート面  
RV混和剤2倍希釈液 0.15kg/m<sup>2</sup>
- 5 鉄筋 防錆ペースト刷毛塗り
- 6 RVモルタル断面埋戻し
- 7 下表「-1」「-2」「-3」のいずれかへ

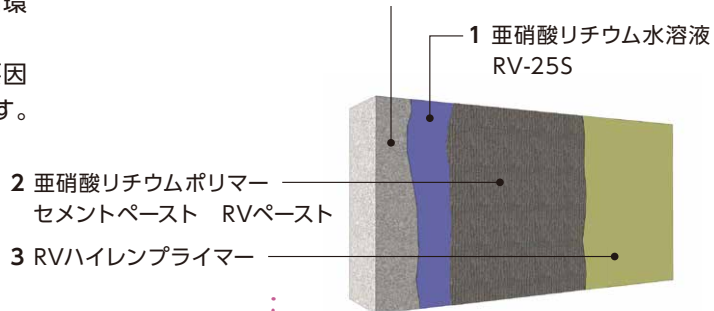
#### 4 亜硝酸リチウムSBRエマルジョン 2倍液 RV混和剤2倍希釈液



#### 5 亜硝酸リチウム含有 ポリマーセメント 防錆ペースト

#### 6 亜硝酸リチウム含有 厚付ポリマーセメントモルタル RVモルタル断面埋戻し

下地処理 (高圧水洗・ケレン・ひび割れ処理など)



仕様例: RV-01-3

#### リバンプ表面被覆工法 ～亜硝酸リチウム併用～

#### RV-01

下地処理 (別途)

- |   |                      |                       |
|---|----------------------|-----------------------|
| 1 | RV-25S               | 0.15kg/m <sup>2</sup> |
| 2 | RVペースト 1.5mm厚        | 3.0kg/m <sup>2</sup>  |
| 3 | 下表「-1」「-2」「-3」のいずれかへ |                       |

#### RV-02

下地処理 (別途)

- |   |                      |                       |
|---|----------------------|-----------------------|
| 1 | RV-40S               | 0.15kg/m <sup>2</sup> |
| 2 | RVペースト 2.0mm厚        | 4.0kg/m <sup>2</sup>  |
| 3 | 下表「-1」「-2」「-3」のいずれかへ |                       |

#### RV-03

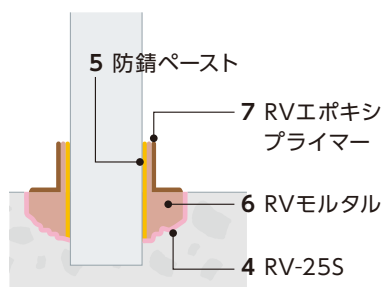
下地処理 (別途)

- |   |                      |                       |
|---|----------------------|-----------------------|
| 1 | RV-40S               | 0.15kg/m <sup>2</sup> |
| 2 | RVモルタル 5.0mm厚        | 10kg/m <sup>2</sup>   |
| 3 | 下表「-1」「-2」「-3」のいずれかへ |                       |

#### リバンプ「防錆環境」型防錆工法

#### RV-N

- 1 ハツリ範囲全周 カッター入れ
- 2 ハツリ出し
- 3 錆落とし・清掃
- 4 コンクリート面 RV-25S 0.15kg/m<sup>2</sup>
- 5 鉄筋 防錆ペースト刷毛塗り
- 6 RVモルタル埋戻し、根巻き
- 7 下表「-1」「-2」「-3」のいずれかへ



#### 5 防錆ペースト

#### 7 RVエポキシ プライマー

#### 6 RVモルタル

#### 4 RV-25S

枝番号	(RV-〇〇) -1	(RV-〇〇) -2	(RV-〇〇) -3
プライマー	—	RVエポキシプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	RVハイレンプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>
仕上げ材	「-2」「-3」以外	ウレタン系材料、およびウレタン基を有する材料 (シーリング材含む)	一般塗装材料 (白・淡彩色)

※仕上げ材は別途工事となります。

●詳しくは別冊カタログ「リバンプ工法」をご参照ください。

材料紹介

RV-40S/RV-25S (亜硝酸リチウム水溶液)

特許製法により製造された亜硝酸リチウムの高濃度水溶液です。必要量に応じて40%水溶液 (RV-40S) と25%水溶液 (RV-25S) を使い分けます。

RV-40S、RV-25S 各20kg缶

※部分補修に適した小型缶もご用意しています。(RV-25S 4kg、RV混和剤 1kg)



RVパウダー類

リバンプ工法用にマッチするよう設計された特殊プレミックスパウダーです。薄塗用、厚塗用、断面の3種類があり、用途に合わせて使い分けます。

各20kg袋

RVパウダー-N 薄塗用



〈用途〉RVペースト用  
防錆ペースト用

RV混和剤 (亜硝酸リチウムSBRエマルジョン)

特殊ゴムラテックス (SBR) に亜硝酸リチウムを高濃度に添加したエマルジョンです。RVパウダー類と混練し、亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントペースト/モルタルを作ります。

20kg缶



RVパウダー-N 厚塗用



〈用途〉RVモルタル用

RVパウダー-断面S



〈用途〉RVモルタル断面用

RVモルタル類: 防錆ペースト・RVペースト・RVモルタル・RVモルタル断面

RVモルタル類は、「RV混和剤・RV-40S/RV-25S」と「RVパウダー類」を混練して使用します。

名称	防錆ペースト	RVペースト	RVモルタル	RVモルタル断面
用途	鋼材廻りハケ塗り用	1~2mm/回 塗布用	2~6mm/回 塗布用・埋戻し用	厚付埋戻し用
適用工法	RV-D	RV-01・RV-02	RV-03・RV-N	RV-D
配合	RVパウダー-N薄塗用 :RV混和剤=20:7	RVパウダー-N薄塗用 :RV混和剤=20:6	RVパウダー-N厚塗用 :RV混和剤=20:4	RVパウダー-断面S:RV-25S:水 =20:1.0:2.3~2.8 RVパウダー-断面S:RV-40S:水 =20:0.6:2.7~3.2
比重	2.0	2.0	2.0	2.0

配合及び積算表は別冊カタログ「リバンプ」工法をご参照ください。

技術資料

● 試験表

※RVパウダー-断面S 20kg、RV-25S 1.0kg、水 3.3kg 配合時

項目	材齢	RVペースト	RVモルタル	RVモルタル断面*	備考
硬化体密度 (g/cm <sup>3</sup> )		2.0	2.0	2.0	4×4×16cm供試体を容積256で除した値
フロー (mm)		—	—	160	JIS A 1171:2000に準拠
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	28日	30.6	26.4	49.8	
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	28日	6.7	6.0	9.8	JIS A 1171:2000に準拠
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		3.0	2.0	2.7	試験条件: 標準配合、20℃±2℃封緘養生
長さ変化率 (%)		-0.11	-0.07	-0.12	

※最新の数値については試験表をお取り寄せください。

取扱い・施工上の注意事項

- 絶対に飲用しないでください。誤飲のおそれがある容器 (ペットボトル・ビンなど) での保管や輸送は厳禁です。
- 取扱いに際しては、適切な保護具を着用してください。
- RV水溶液単体でのスプレー塗布・噴霧は行わないでください。(吸い込むと危険です)
- 工法外の製品 (補修材) とリバンプ工法材料は混ぜないでください。(NOxガスを発生する場合があります)
- その他、SDS (安全データシート) に記載の内容を遵守願います。

## 土木用アスファルト系目地材

# 瀝青質目地材 エラスタイト

### 概要

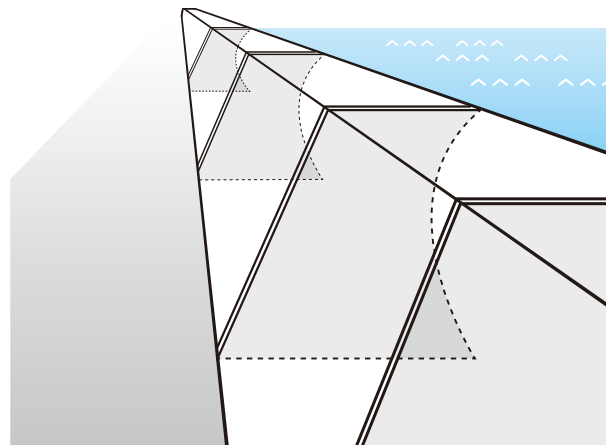
アスファルトに鉱物繊維・粉末などを充填したものを板状に圧延し、両面にアスファルトフェルトを貼り付けた土木用目地材です。

### 特長

- 均一なアスファルトマッシュク混合物のため、長期間の安定性があります。
- 耐水性・耐腐食性に優れます。

### 用途

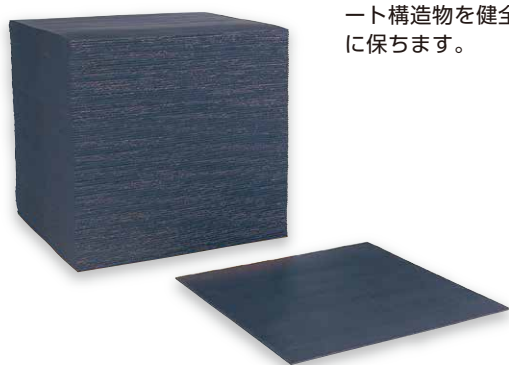
護岸・ダム・道路・地下鉄・貯水地・水路等



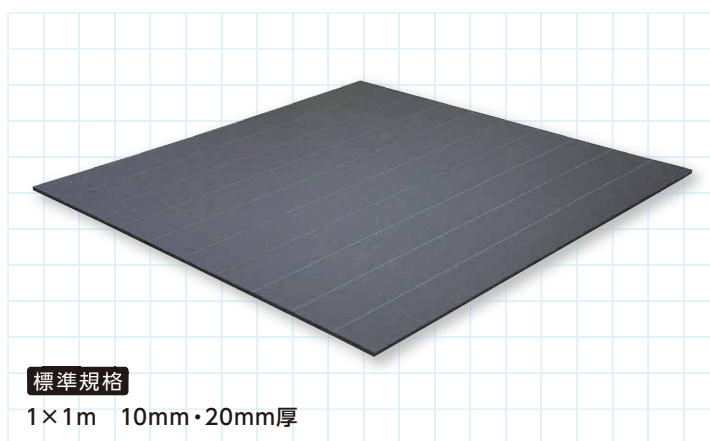
### ●エラスタイトの品質

試験項目／結果	エラスタイト10mm	エラスタイト20mm
製品の長さ (cm)	100.0	100.0
製品の幅 (cm)	100.0	100.0
質量 (kg)	12.9	25.8
厚さ (mm)	10.2	20.9
コア部瀝青質含有率 (%)	65.5	65.5
撓み性 (mm)	2	2
脆性	合格	合格
吸水性 (%)	1.1	0.7
圧縮応力 (N/cm <sup>2</sup> )	332.8	212.5

※最新の数値については試験表をお取り寄せてください。



安定した品質で、適度な圧縮応力を持ち、コンクリート構造物を健全に保ちます。



標準規格

1×1m 10mm・20mm厚

カット品については弊社営業員にお問い合わせください。

### 取扱い・施工上の注意事項

- 熱により柔らかくなりますので保管の際は必ず平面に積んでください。
- 日光・雨が直接当たらないように保管してください。

## 田島ルーフィング株式会社

<https://tajima.jp>

東京支店	〒101-8579	千代田区外神田4-14-1	TEL 03-6837-8888
大阪支店	〒550-0003	大阪市西区京町堀1-10-5	TEL 06-6443-0431
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6-2-6	TEL 011-221-4014
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央1-6-35	TEL 022-261-3628
北関東営業所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-49-8	TEL 048-641-5590
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-26-1	TEL 043-244-3711
横浜営業所	〒231-0012	横浜市中区相生町6-113	TEL 045-651-5245
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町1-12-20	TEL 042-503-9111
金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町1-14-29	TEL 076-233-1030
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄1-9-16	TEL 052-220-0933
神戸営業所	〒650-0023	神戸市中央区栄町通6-1-17	TEL 078-330-6866
広島営業所	〒730-0029	広島市中区三川町2-10	TEL 082-545-7866
福岡営業所	〒810-0041	福岡市中央区大名2-4-35	TEL 092-724-8111